



グローバルな舞台で活躍する自信を上げよう

プロジェクトアブロード 日本では得られない実務経験を海外で積み新しいプログラム

Projects Abroad

近年、大学や大学院などでは得られない「経験」を得る場として注目を浴びているギャップ・イヤー制度。その考えを本場イギリスから我が国にもたらした先駆的存在が「プロジェクトアブロード」だ。設立から20年、いまや団体独自のプログラムがグローバルな活躍を目指す人たちの話題となっている。その活動と魅力について関係者にお話を伺った。

プロジェクトアブロードとはどういった団体ですか。

上木 今から約20年前の1992年にイギリスで設立されました。団体の創設者であるオックスフォード大学の先生に、学生が長期休暇を利用してルーマニアでの英語教育をしたいと申し出ました。その頃、ボランティアや留学などを通じて長期休暇の間に社会勉強をする「ギャップ・イヤー」の実施を希望する学生が増加しつつあり、そのニーズに応じて彼らのサポートをしていったのが始まりです。今や私たちのプログラムは20種類以上、活動国も20カ国以上になっています。日本事務所は2008年に設立されました。**プロジェクトアブロードのプログラムに参加された動機は。**

折川 自分自身のチャレンジとして、大学在学中に長年続けてきた音楽の知識を海外で生かすことを考えていました。そんな時に、同じ研究室の先輩がこちらで「南アフリカでサッカーを教えるプログラム」に参加した話を聞いて、ここなら自分の好きなテーマで海外経験を積めると思い、参加を決定しました。**木村** 私はアフリカの貧困問題に興味がありました。大学の授業などで触れはす

るものの、どうにも距離がありすぎて実感がわかない。そこで現地で起こっていることを、実際に体感し理解しようと思ったのが参加した理由です。


木村 タンザニアでケアとHIVの教育を3か月ずつしました。ケアでは孤児院の子どもたちに簡単な英語教育を、HIVの教育では、学校を回ってその予防法を教えました。次に南アフリカで、難民の法的支援から生活相談などを実施しているNGOの紹介活動をしました。その後、黒人居住区内にある職業訓練施設でパソコンの使い方やHIV予防法などのワークショップを補助していました。

折川 私は、ガーナで暮らす難聴児への音楽教育プログラムに参加しました。他



プロジェクトアブロード
日本支店 代表
上木 香奈さん
Ueki Kana
同志社大学卒業後、法律、金融など一般企業に勤務。インドジャーナリズム3か月後日本代表に就任。

折川 決定的な違いは「良い意味でも悪い意味でもFREETIMEなところ」です。何か目標が決まったら徹底的に活動出来るというのがプロジェクトアブロードの特徴だと思います。誰かが決めた行程をこなすというのとは違って、主体的に行動すればいくらかでも融通を利かせてくれるので積極性が高い方に適したシステムですね。**木村** 開始時期や期間設定の自由度の高さです。プロジェクトの種類も豊富で、数



慶應義塾大学大学院理工学研究科
基礎理工学専攻修士2年
折川 穰さん
Orikiwa Jo
ガーナの難聴児たちへの音楽教育プロジェクト1か月

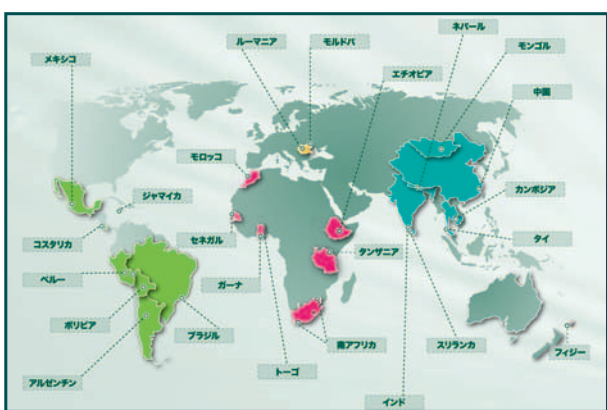


京都外国語大学
英米語学科国際研究コース
木村 洋平さん
Kimura Yohei
タンザニアでケアとHIV教育、南アフリカで難民法的支援等11ヵ月

ある中から自分にマッチしたものを選べるのも大きな違いです。自分の希望によりプログラムアドバイザーが親切に対応してくれるので、遠慮なくプロジェクトを変更・アレンジすることができましたし、期間を決めて何種類ものプロジェクトを経験した方もいました。ここまで融通が利くところは少ないでしょう。**上木** 自ら率先して現場に溶け込み、コミュニケーションを取りながらやるべきことを体感して覚える「実践型」の活動重視スタイルであるという点が大きな違いです。それゆえ参加者の自発性、積極性が強く求められます。活動内容の幅も広く、希望を言えばコーディネートしてもらえろという意味で自由度が高いことも魅力です。一人一人の「個性」を重視し、世界各地から集まる人々と活動する国際的な環境である点も特徴として挙げられます。

折川 参加者の方々は自分の経験の場を得たいと考えている人が多いように思いますが、

折川 参加者の方々は自分の経験の場を得たいと考えている人が多いように思いますが、



プロジェクトアブロードの活動国は全世界に広がっています

DATA

海外ボランティア & 海外インターンシップの
Projects Abroad
プロジェクトアブロード

横浜市中区新港2-2-1
横浜ワールドポーターズ6階
TEL: +81 (0) 45 222 2072
Email: info@projects-abroad.jp
お問い合わせは下記へ
<http://www.projects-abroad.jp/>

プロジェクトアブロードの特徴

- 多彩なプロジェクト (プロジェクト一例: ケア、教育、環境保護、医療インターン、ビジネス、法律人権、ジャーナリズムなど)
- 参加者の経験、スキル、希望を聞いて活動先を決めるオーダーメイドシステム
- 豊富な地域貢献、異文化交流の機会の提供 (コミュニティ活動、衛生教育、支援活動などプロジェクト外の多様な活動)
- 完全英語のみの国際的環境
- 海外で本格的な実務経験が得られる (弁護士、ジャーナリスト、医師看護師などプロから学ぶ実務)

ワードを掲げ、自分なりに出来ることを模索しようと考えています。例えば日本企業を新興国に進出させる流れを作ることや、そこで起業すること、対象国の人たちが来日した際に日本人とのマッチングシステムを構築する、などです。**木村** 貧困に対して個人にできることは本当に僅かなもので、継続性も極めて弱い。やはり持続可能な生活への支援とその国の自立に向けた援助の必要性を強く感じました。ですから、私は彼らへの効果的な支援の実施者として、ODAを行っている政府機関や国際組織で活動したいと思っています。

代表に質問です。これから貴団体ではどのような人材を育成したいと考えていますか。

上木 日本という垣根を超えた「グローバル人材」を育成したいと思っております。私たちの現場では、世界各地から様々な人たちが集い、一緒に行動するので意思疎通もスムーズにいかないのが日常茶飯事です。日本人ならず理解してもらえることでも根気強く口に出していかなければ通用しません。そんな状況に身を置き、異なる環境や変化に対応できる適応能力をつけた、世界で活躍する人材の育成に貢献できればと思っています。